

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌

# KEIWA COLLEGE REPORT



## 第26号

〈APRIL 2001〉

発行/敬和学園大学広報委員会



CLOSE UP

### 学長の余談1単位 北垣宗治

人気授業をサーチする

2001年度新規コース紹介

ニューライフ／創立10周年記念式典／はじまります一県短との単位互換!!

2001年度イブニング・コースについて／科目等履修生制度との出会い

長期留学制度／JCLP—日本語・日本文化プログラム

オーストラリア異文化交流プログラム

サブゼミナール—中国旅行／ゼミ紹介

就職活動体験談／企業から見た敬和生のイメージ

敬和のボランティア

ケイワ・オープンカレッジのご案内

2000年度学生団体年度内表彰／クラブ紹介

学事予告・寄付者ご芳名

# 2001



大学の10年を写真で振り返りました。上は1990年7月、開学前年の  
進入路のけやきです。よく見ると奥の校舎はまだ建築中です。

左下は1996年9月に撮影したものです。2000年5月には太さも右下の  
ようになりました。けやき同様、今後大学がどんな成長を見せるか、  
楽しみです。

## もくじ

学長の余談1単位	北垣宗治	1	オーストラリア異文化交流プログラム	8
ニューライフ	松崎洋子	4	サブゼミナーー中国旅行	9
創立10周年記念式典		4	ゼミ紹介	9
はじめります一県短との単位互換!!	5		就職活動体験談	10
2001年度イブニング・コースについて	5		企業から見た敬和生のイメージ	10
人気授業をサーチする	6		敬和のボランティア	11
2001年度新規コース紹介	7		ケイワ・オープンカレッジ(公開講座)のご案内	12
科目等履修生制度との出会い	山下悦子	7	2000年度学生団体年度内表彰	13
長期留学制度	山田耕太	8	クラブ紹介 HOWDY!	13
JCLP—日本語・日本文化プログラム		8	学事予告・寄付者ご芳名	13

<表紙> 安藤 唯一「御室おかめ桜」

(安藤司文 本学教授 お父上 日曜画家 画集「表象を描く」から)



# 学長の余談一単位

学長 北垣宗治

今年は巳年（みどし）です。私は巳年で、還暦を過ぎて十二年目になります。昔の人にはヘビのことをヘミと言つたそうで、はじめのへが取れてミだけでヘビを意味したようです。ヘビは私の好きな動物とはいえないが、それでも聖書によるとイエスは伝道の旅へと出発する十一弟子に向かつて、「蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい」（マタイ10：16）と言われたのであります。厳しいこの世を生きしていくためには、私たちはやはり蛇と鳩に学ばなくてはならないのだと思います。賢い人で、同時に素直である人は滅多にいません。素直な人はしばしば素直さに安住してしまい、現実を

直視し分析して方向を見定め、時には悪質く振る舞う、といったことができません。もう一つ付け加えますと、蛇は脱皮しながら成長する動物です。田舎に住んでいると時折蛇の抜け殻を見付けることがあります。私たちもまた古い殻を脱ぎ捨てて、新しい衣服を身に付ける必要があります。これを大学にあてはめるならば、大学は改革をはかりつつ前進しなくてはならない、ということです。改革しない大学は学生諸君に見捨てられるでしょうし、この大学を誇り致して下さった新発田市や聖籠町からも飽きられてしまうでしょう。

## 二〇〇〇年度の実験

新学期の発足にあたり、昨年面白かったことを一つ紹介してみましょう。私は本学で一科目だけ授業を担当していて、教室に出かける木曜日の朝は嬉しくてわくわくす

なこともわからないのかなあと、失望するような質問も数多くありました。明らかに私の方の説明不足が原因であるような質問もあり、反省させられました。ある時、地球の人口爆発との関連で「産児制限」の話をしたところ、何人かの学生が「三次制限」と聞き違え、「一次制限、二次制限では何を制限したのですか?」という質問が書かれていてびっくりしたことがあります。私は授業が終わると学生諸君の質問を分類整理して自分のノートに書き写し、次の授業では半時間ないし四十五分間を使つて質問に答えていきました。すると私の答えに対してまた更に質問が出て、議論の内容は一層深められていました。こういうやりとりを一年間続け、私のノートはいつしか学生の質問集のようなものになつていきました。

シラバスに基づいて教えなくてはならない項目が多岐にわたつていて、授業時間の半分を使って質問に答えていてもよいのだろうかという疑問がはじめて、一度も頭をよぎりました。しかし今年は実験的にこの方法に固執しようと決めました。六

# CLOSE UP

月のある日、期せずして一人の学生からこういうコメントが出来ました。「私たちのベースに合わせてくれてうれしいです。」  
「学長が授業で私たちの質問に答えていただけのは嬉しく思います。普通の授業は先生から学生への一方通行的なものが多いので、学長の授業は楽しめます。」これを読んで私はある種の感動を覚えました。というのは、これまで四十年にものぼる教師生活をしていて、学生が講義をどのように理解したかを試験とペーパーで知る以外には特に確かめもせず、大体においていつも一方通行的な授業をしていたことに思い当たつたからです。

## 教師の余談

学生諸君のコメントを読んでいると、シラバスの内容に即して講義した部分に対する反応もありますが、それ以上に目立つのは、時折りの私の「余談」、または「雑談」に対しても生徒たちが示す真摯な反応でした。たしかに自分の小学校、中学校時代を思い起こしてみると、先生が一時間全部を使つて生徒に説教することがありました。

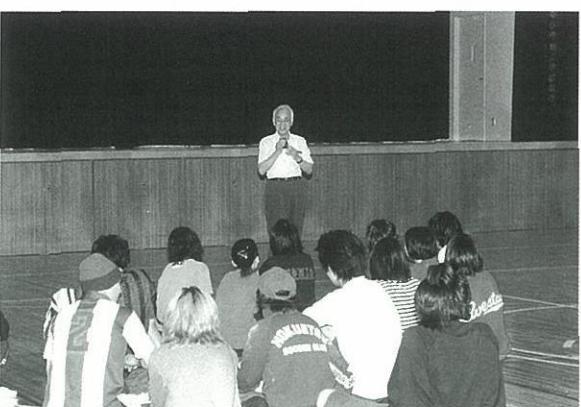
教師は、生徒が元気がないとか、返事が悪いとか、がやがやしてうるさいとか、身を入れて勉強しないとか、何やかやと説教するものです。そのような説教は、教育実習で教師の卵である生徒たちが書かれる「教案」とはまったく無関係のものです。大学にいる私たちもまた生徒に説教することがありますが、大学教師というものは説教よりは「余談」や「雑談」というスタイルの方を好みのだと私は見ています。

大学教師の余談を学生諸君はどうのように

受け取られるでしょうか。私自身長い学生生活をしてきたので、教師の余談については私なりの意見があります。教師の余談は次の三種類に分けることができるでしょう。①教師が取り上げているトピックを学生によりよく理解させるための注釈としての余談、②授業の流れとは関係なしに、折りに触れてすることになる老婆心的、教訓的、説教的余談、③教師が自分の授業の準備不足を糊塗するための余談。このうちで非難すべきは明らかに③であり、学生諸君は教師がその種類の余談をしていることを本能的に見抜きます。しかし私は①と②は許されると考えます。余談というものはスクリーンに映る放送大学の先生の口からは絶対に聞けないものであり、それなりに価値があるからです。学生諸君が書いてくれたコメントから、私は余談の重要性ないし価値というものにあらためて気付かされたことを告白します。学生諸君に余談が与えるインパクトは、時としてきわめて強いものがあるのです。

## 成功した余談の話

昨年いちばん学生に訴えた余談は何であつたかといいますと、それは敬和学園大学がその出発に当たり、言うも涙、聞くも涙というほどの難産だった話をした時でした。私ははじめからそんな話をしようと計画したわけではないのです。明治八年に東京に森有礼が商法講習所（一橋大学の前身）という学校を作った話をしたとき、学校を創ることにまつわる問題点を話しているうちに話が敬和学園大学に及びました。敬和



地域の子どもにあいさつする北垣学長

られたのか。必要な創設費を誰がどうやって集めたのか。大学教員として、また職員として必要な人々をどうやって集めたのか。大学設置審議会の専門部会が、敬和方で教授候補者として予定していた人に不合格の判決を下したとき、どうやってその穴埋めをしたか。手強い文部省の役人とうやつて渡り合つたのか。そういう歴史的エピソード、ないし裏話に学生たちは感激して耳を傾け、もっと聞きたい、もっと聞きたいと言いました。考えてみると、そういう話は学長である私にしかできない種類の話でした。そういう話のあとにはこういうコメントが書かれていました。「敬和学園大学を創立するために必要だつた二十六億円を集めまるまでの努力はいかに大変なものか」。

のであつたかを知ることができてよかったです。」「この大学にいる全員がそのことを知っているといなと感じました。そしたらもつとこの大学の向上になるのではないかと思います。毎日こうして授業を受けていられるのも多くの人の援助と支援があることをはじめて知りました。大学に対する愛情がわいてきました。こういった話をぜひチャペルなどでしていただいた方がよいと思いました。」「学長は敬和大学の学生に對して、大学で何を学んでいってもらいたいと思っていますか？」これらはすべて、嬉しい反応でした。学生たちはやはりそれに自分のアイデンティティを求めているのです。敬和学園大学がどうやって創立されたのか、何を狙いとする大学であるのかがわかると、自分はこれからどうすればいいかがわかるのです。だとすれば、このような余談は必修科目にしてもよいのではないかでしょうか。「学長余談一単位」といった科目があつてもいいかもしれません。

### もう一つの大重要な余談

私の余談のもう一つのトピックはどうしてもキリスト教の話になってしまいます。たとえば新島襄、内村鑑三、津田梅子、遠藤周作の留学について論じる場合、どうしてもキリスト教にふれざるを得ません。「徳川幕府が鎖国政策を取った理由は何か。」この大問題に立ち向かえば、必然的にキリスト教が出てきます。キリスト教とは何かということを、私はいろんな角度から論じることになります。「カトリックとプロテstantはどう違いますか?」「敬

和はカトリックですか?」「クリスチヤンは酒を飲んではいけないのでしょうか?」等は私の大好きな質問です。

敬和学園大学は学生をクリスチヤンにすることを目的とする大学ではないことは、これまでいろんな場所で宣言してきました。しかし人間をその強さと弱さにおいて理解するためには、キリスト教の与える枠組みはもつとも有効であると言わざるをえません。人間の本質は自由な存在であるということですが、その自由を用いて、人間は堕落することもできるし、隣人に仕えることもあります。キリスト教は隣人に仕えることが神に仕えることなのだと教えます。自分のアイデンティティの探求者にとって、これほどよいヒントはありません。

### 心の中の真空

教室で内村鑑三の生涯を概観したとき、彼が三度結婚したことに触れ、うっかり口を滑らせて、「偉い人は三度結婚する」と言つてしましました。私にはその例として『樂園喪失』の大詩人ミルトンと、アメリカ文学学者・翻訳者として業績を上げている某先輩のことが頭にあつたからです。学生諸君は耳ざとくこれに食いついてきました。「エライ人は三回結婚している」と言いましたが、なぜ三回結婚している人にはエライ人が多いと思いますか。」「ああ、これでは教室でうつかり冗談も言えません。

その内村は心の中の激しい戦いを正直に記録した人でした。ベンシルヴァニアの知的障害児の施設で働いていたときの内村を説明するあたり、私はこういう例を引き合いに出しました。「これは経験から言う

のですが、人間には心の内部に真空があります。人間は何らかの仕方でその真空を満たそうとします。ある人は快樂を追求することによって。別の人は趣味に身を捧げることによって。また別的人は、内村のように社会福祉の施設で身を粉にして働くことによって。内村はそうすることによって心の平安を得ようとしたが、それは不可能でした。なぜなら本当の意味で心の中の真空を満たすことができるのは信仰だけだからです。」心の中の真空の譬えはかなりの数の学生諸君の共感を呼びました。そしてこのううコメントも現れました。「我々の中にある真空を埋めるのは信仰だけでしょうか。私も時々何とも言えない虚無感というか、無力・脱力の様な感覚に襲われることがあります。それも信仰の影響なのでしょうか。信仰とは、いつたい何なのかがわかりません。」

### 聖書的年齢を過ぎた私

キリスト教では古来七十歳を「聖書的年齢」と呼びますが、私はそれを通過しました。だからもう何時この世を去つてもいいと日々思います。だとすれば、敬和学園大学の教室で講義できる一回一回が非常に貴重な時間に思えきます。大げさな表現で恐縮ですが、毎回が私の遺言なのです。学生諸君が遺言と取つてくれようしてくれまいと、それはかまいません。私はこれから、なすべきことをなすのみだ、と考えています。

# ニューライフ

英語英米文学科教授 松崎洋子



「大学」という心地よいイメージに胸踊らせ、四〇歳も半ばを過ぎてから、十数年勤めた横浜の大学を、友人たちの表現では「あつさり」と辞め、本と衣類以外は何も持たず新潟に来て、新しいアパートで新しい家具に囲まれて、私自身も「新しい生活」を始めたのです。

甘かったです。「新しい生活」の認識が。いきなり学生主任を拝命し、その後も

ボランティア委員長、外国語改革委員長、大学とコミュニティ連携のウーマン・カレッジ委員長、図書館長、英語英米文学科長とこの一〇年間は文字どおり初体験のオンラインパレードでした。能力にあまる仕事が次から次へと降りかかり、格好良く言えばチャレンジング、本音はやぶれかぶれ、あたつて碎けるの姿勢で取り組むしかありませんでした。

この一〇年間、私は二つのことに支えられてきたように思います。まず、敬和の学園の方は同じ年の一年生だけの学園祭で学生の一人が描いてくれたものです。一〇年の歳月を経て、これらはもう私の乱雑な研究室の景色の一部になつておらず、ほとんど意識することはないのですが、研究室を訪れる学生たちがしげしげと眺めて、「この人たち一期生なんだ!」「この絵けつこう似ていますね」などと言つてゐるのを耳にすると、ほんの一瞬タイムスリップして、産声を上げたばかりの敬和学園大学と当時の自分に返ることがあります。

大学創設に尽力された春名康範牧師と奥様とは一〇代の頃からの親しい友人でしたし、学長の北垣先生には学生時代に教えていただきましたことがあります(告白しますが私はあまり出来のよい学生ではありませんでした)。そういう縁で、私は「新しい

十年は過ぎましたが、敬和学園大学という壮大なプロジェクトはまだ完成していません。関係者全員の力で大学の機能をますます充実させ、それが未采につなげるといいます。最後に文頭の記念写真と似顔絵に話をもどします。あの頃の私はちょうど一〇年分若かつた!

## 創立周年記念式典

敬和学園大学は、一九九一年四月に開学し、本年四月で十周年を迎えます。

本学では、左記のとおり記念式典・記念祝賀会を行いたします。

### ◇記念式典

日時 一〇〇一年四月二十一日(土)

午前十時開式(九時受付開始)

会場 敬和学園大学

T・A・パーク体育館

### ◇記念祝賀会

日時 一〇〇一年四月二十一日(土)

十一時開宴

会場 新発田ベルナール

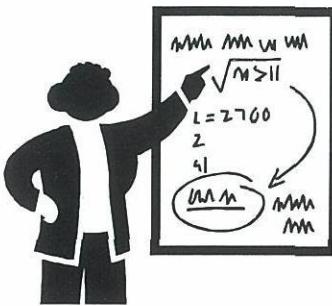
もう一つは学園祭・福祉体験学習、ふれあいコンサート、外国语改革など、中身は違つても、学生、同僚、職員の方々と協力して、障害をクリアしながら何か新しいものを作りあげ、工夫をこらすうちにそれらが少しづつ機能し、継続していく喜びを味わえたことです。

—はじめります—

## 県短との単位互換!!

本学は、一九九八年度から放送大学との単位互換制度を導入し、放送大学が開講する三〇〇以上の科目の中から、本学のカリキュラムと重複せずに補う一〇〇科目以上を卒業要件単位として認定しています。その後も近隣の大学・短大等高等教育機関との連携を模索してきました。

その結果、二〇〇一年度に県立新潟女子短期大学との単位互換制度が始まります。新たに県立新潟女子短期大学の科目の中で十数科目が、本学の自由科目として卒業要件単位として認定されることになります。また、県立新潟女子短期大学の学生も本学の科目を卒業要件単位の中で履修することができます。このように、近隣の学生同士が自由に他大学の科目を履修できる単位互換制度のネットワークを今後も新潟市を中心としてさらに広げていく方針で、具体的な検討に入っています。



## 2001年度イブニング・コースについて

地域に開かれた大学を目指して、昨年度から社会人の方が受講しやすい時間帯に「イブニング・コース」を設置し、本学カリキュラムの一部の科目を開講しております。

イブニング・コースの時間帯は午後7時から8時30分までです。昨年度は45名の社会人の方がこのイブニング・コースを受講され、大変好評をいただきました。

なお、今年度から、キリスト教をより深く学びたい方や牧師を目指す方のために「キリスト教講座」を、また、日本語教師を目指す方のために「日本語教育講座」を新たに開設いたしました。

このほかのイブニング・コース開講科目は下表のとおりです。

授業内容や受講の詳細については、教務課教務係までお問い合わせください

### お問い合わせ・募集要項請求

電話 0254-26-2514 (教務課教務係直通)

開講日	科目名	単位数	担当者	開講期
月曜日	環境経済学	4単位	房文慧	通年
	ビジネス英語	4単位	Mary Hughes	通年
火曜日	国際金融論	4単位	大海宏	通年
	ディスカッションとディベート	4単位	Conrad Matsumoto	通年
	旧約聖書学(キリスト教史2)	2単位	永野茂洋	前期
	新約聖書学(キリスト教学2)	2単位	山田耕太	後期
水曜日	文学1／文学2	各2単位	若月忠信	前期／後期
	比較宗教思想1／比較宗教思想2	各2単位	延原時行	前期／後期
	海外旅行・留学の英語	4単位	Mark Frank	通年
木曜日	アメリカ研究A	4単位	松崎洋子	通年
	日本語教育講座	2単位	田中佳子	通年

■場所／ 本学キャンパス ただし、「国際金融論」のみ新発田市生涯学習センター

■授業料／ 1単位につき1万円

# 人気授業をサーカスする

「知つてゐるつもり」だった「日本文化」

## 田中利幸教授の「日本文化論」

国際文化学科三年 鶴 田 陽 子

「日本文化論」の授業概要に「前期は日本文化の重要な歴史的要素について、後期では現在我々を取り巻いている様々な社会問題について検討する」とありました。私は国際文化を学びたくてこの大学に入学しました。

この概要を読み、自國の文化を理解することで、より深く他の国との関係を学べるのではないかと考え、履修しました。授業には一〇〇人くらいの受講生が集まり、その人気ぶりに授業への期待が高りました。

田中先生は事あるごとに社会で起こっている出来事を話題に上げ、「世の中は間違つたよ。きみたち学生の頃が一番物事を吸収しやすい。のほほんと生活していくはダメだ。ちゃんと問題意識をもたなければいかん」と生きる姿勢を熱弁してくれます。一方、授業中に、先生の体験談や余談へと移ることもしばしばですが、あわてて授業内容に戻そっとする先生の姿を見て、親近感が湧きます。

トピックは、「文化とは何か」から始まり、天皇制、「汚れ」の文化、戦争、アイヌ文化などが取り上げられ、デイベート（討論）を交えながら前期を終了しました。私もデイベートに参加しましたが、それは新鮮な体験でした。扱つたトピックは「天皇制」で、図書館やインターネットで調査を行い、論を組み立てます。今までの授業

とは違つた、専門的で、自分から関わっていく授業でした。

## 西村秀雄助教授の「近代科学史」

国際文化学科三年 伊 関 望

近代科学史は科学史1、2を土台にし、そこからより深く西欧近代科学の成立を総合的、学際的な視点から理解しようとする講義です。土台となる科学史は、西欧近代科学の歴史を、それを生み出した西欧の思想や文化、社会との相互関連の中で考察する講義です。

他の講義と違うのは、先生が作られたプリントが配付され、そこに学生一人ひとりが授業中に書き込んでいくことでノートができる上がっていくところです。いわば先生との共同作業です。本来講義は先生と学生が一緒に作つていくのですが、それを実現するのは簡単ではありません。西村先生は、少しでもその実現を図ろうと、学生と言葉を交わすために情報発信をなさっています。ホームページ ([http://www.page.san-net.ne.jp/h\\_nishi/](http://www.page.san-net.ne.jp/h_nishi/))を開設し、その中で講義の内容の要約や、受講生が書いた質問カード、今日の一言に先生のコメントを付けた

ディベートの形態を成していた」とお褒めの言葉もいただきました。

授業の最終日は、男女関係のあり方を中心とした問題を改めて感じました。普段の生活の中では意識してこなかったのですが、先生の授業に出席して、自分が「日本文化」について知らなかつたことに気が付きました。前回もディベートに参加しましたが、前期の経験もあり、調査方法、発表手順をスムーズに進めることができました。「論者それぞれが意見を十分述べ、

後期では、日本の伝統文化、「悪（場）所」の文化、青春について学びました。後期もディベートに参加しましたが、前期の経験もあり、調査方法、発表手順をスムーズに進めることができました。「論者それぞれが意見を十分述べ、

ものが載せてあります。私も自分の一言に対する先生のコメントを乐しみにしています。それだけでなく、そのホームページでは先生の生活ぶりなども見ることができます。こうしたホームページは受講生の利用も多く、確実に、教師から学生への一方通行を防ぐ手段となつています。こうした試みが他の講義とは大きく異なる点といえます。また、ビデオを使うことで学生の理解を助けています。お昼のため食堂などが混む前に講義を終わらせるようになります。そこもユニークです。

と、ここまで書いたものの、近代科学史を紹介するためには、「受講してみたい」という言葉を交わすために情報発信をなさっています。どう言つては身もふたもないのですが、どの大学においても、どの講義を取つてもいろんなチャンスは溢れています。それが「人気授業」といつても、自分が取り組む姿勢がカギとなると思います。西村先生の授業はそのようなことを感じさせる講義です。

# 二〇〇一年度新規コース紹介

## 英語でアジアを考える

—エイジアン・スタディーズがスタート—

二〇〇一年四月から、共通専門科目の英語IV「オプション・コース（三、四年生対象）としてエイジアン・スタディーズ（アジア学）が開講しました。通年科目ですが、前期は田中利幸教授、後期は松本ますみ助教授が担当します。日本を含めたアジアをつなぐ言語として、いま、英語に注目が集まっています。学生の皆さんも社会に出れば、日本のこと、アジアのことについて自らの意見を英語で表現する能力を求められます。もちろん、そのためには、アジアについての的確な知識と認識が求められることはいうまでもありません。担当教員一人は英語のネイティブ・スピーカーではありませんが、英語を用いて日本を含むアジアの研究を行い、世界に発信してきました。

このクラスでは、教材として、日本と近隣アジア諸地域で現在起きている様々な社会、文化、政治、環境問題に関する英字新聞・雑誌の記事、インターネットを使います。各トピックに関して学生が英語で概要を報告し、そのトピックの背景を調査した結果と自分の意見を発表します。それら発表をもとに、グループ・ディスカッションを行います。

この授業ではすべて英語が使用され、日本語は一切使いません。ネイティブ・スピーカーではない教員と学生がすべて英語によつて授業を行うというのは、新潟県内の四年制大学では初めての試みとなります。

## コミュニケーション・コースについて

英語英米文学科専任講師 中村義実

「国際化」や「情報化」がキーワードになる現代社会において、「コミュニケーション」という用語が一層の注目を浴びています。本学でも、二〇〇〇年度より「コミュニケーション・コース」が設置され、コミュニケーション教育の第一歩が踏み出されました。

本学の「コミュニケーション・コース」は、「人文学」の理念に根ざした独自の方向性を持ちます。国際化や情報化がどれほど行きわたろうとも、最終的に問われる人は、情報を処理する、また情報を発する人間の内実であることは間違いません。それゆえに、「人間とは、世界とは何か」という根本的な問いをコミュニケーション学の基軸に据えます。

「コミュニケーション」とは、人間それが情報の授受とおして影響を与えあうプロセスです。人間同士がどのようにつながりを紡ぎあい、自分をそして社会成長発展させていくのか。敬和が誇る幅広い教養教育、実践的な外国語教育、そして新しいマルチメディア教育（コンピュータ等）を融合させ、新たな価値の創造を図るのがこのコースの狙いです。

二十一世紀に根ざす新しいコミュニケーション学の構築は、教員と学生間のコミュニケーションの深さにかかっているといつても過言ではありません。「コミュニケーション・コース」は、学生一人ひとりが自己発見から自己実現に向けて歩む姿勢を最大限にサポートしていきます。

あつこれだ!!

## 科目等履修生制度との出会い

二〇〇〇年度科目等履修生 山下悦子

「あつこれだ!!」と叫んだ日から、はや一年になります。『広報新発田』で「科目等履修生募集」の記事を読んで「目から鱗が落ちるほど感激した日を思い出します。以前から勉強したい、何かやらなくちゃと漠然と思つていましたが、不規則な主人の転勤や子育て、親の世話などで不可能でした。だからこの大学で勉強できるとは、まるで夢のようでした。私はとても自然なことだと思っていたのに、周りの反応は違っていました。主人は「何を今さらその歳で」と呆れた様子でしたし、子どもたちは「エイ」と言つて笑い出しました。

大学では学生たちがとても自然に受け入れてくれ、ハデな外見からは信じられない親切で思いやりのある言葉が返ってきて何度もびっくりしました。これはとても新鮮で嬉しい驚きでした。また前向きですばらしい友にも恵まれました。先生方はとても熱心で辛抱強く導いてくださり、人間として生きる姿勢を授業の態度から学ぶこともできました。

五十二歳の現在、無理だと思っていたインターネットで自由に瞬時に全世界に飛んでいけ、また今まで諦めていた翻訳もやればできるようになりました。「ビデオ・リスニング」では自分の意見が英語で述べられるとは思つていませんでしたが、先生に「意見には悪いも正しいもありません。自分の思ったことを書けばいいのです」と勇気づけられ、時間は随分かかりましたが負けないことなく書くことができました。この一年、前進させていただき本当にありがとうございました。

新しい制度がまた始まります！

## 長期留学制度

教務部長 山田耕太

従来までは、夏期休暇と春期休暇を利用した五週間の短期語学研修プログラムが、アメリカ・アイオワ州のノースウェスタン大学、カリフォルニア州立大学サンバナディーノ校、シアトルのワシントン語学学校、イギリス・ボーンマスのアングロ・コンティネンタル語学学校で持たれてきました。また、これらの語学研修の枠を越えて自由留学制度が二〇〇〇年度から導入されました。

二〇〇一年度からは、これらの短期留学制度や自由留学制度に加えて、新たに半年または一年間の長期留学制度が導入されました。

この長期留学制度の特徴は、三つあります。第一に、留学期間中が休学扱いになります。第二に、留学期間中に数えられます。すなわち、本学に四年間 在学している間に、海外の大学等の高等教育機関で半年ないしは一年間留学ぶことができる制度です。第三に、海外の大学等の高等教育機関で履修した単位は、新しいカリキュラムの一・二年次は三〇単位まで、旧カリキュラムの三年次以上は一〇単位まで自由単位として卒業要件単位に認定することができます。第三に、长期留学先の授業料は、本学の学費の半額を限度として本学から奨学金として支給されます。ただし、渡航費や滞在中の生活費は支給対象になりません。長期留学先は、協定提携校になります。

この長期留学制度の特徴は、三つあります。第一に、留学期間中が休学扱いになります。第二に、留学期間中に数えられます。すなわち、本学に四年間 在学している間に、海外の大学等の高等教育機関で半年ないしは一年間留学ぶことができる制度です。第三に、海外の大学等の高等教育機関で履修した単位は、新しいカリキュラムの一・二年次は三〇単位まで、旧カリキュラムの三年次以上は一〇単位まで自由単位として卒業要件単位に認定することができます。第三に、长期留学先の授業料は、本学の学費の半額を限度として本学から奨学金として支給されます。ただし、渡航費や滞在中の生活費は支給対象になりません。長期留学先は、協定提携校になります。

### お問合せ

#### JCLPへの参加については…

教務課教務係 TEL(0254)26-2514  
kyoumu@keiwa-c.ac.jp

#### ホスト・ファミリーについては…

総務課総務係 TEL(0254)26-2394  
somu@keiwa-c.ac.jp



—日本語・日本文化プログラム—  
Japana  
Language  
Culture  
Program

JCLPは、日本語や日本文化を学びたいと希望する外国人を対象とした学習プログラムです。今年は五月十四日（月）から六月十日（日）までの約一ヶ月間実施される予定で、現在六名の外国人の参加希望があります。

大学では、日本語の集中講義や日本の生活や社会などを英語で学習する講義が行われます。講義のほかに、生け花や日本のマナーなどを学んだり、本学の学生団体の活動などの課外活動にも参加します。

また、参加者は、新発田市・聖籠町を中心とした地域の家庭にホームステイして、日本語や日本文化をじかに学びます。

JCLPへの参加を希望する方、ホスト・ファミリーになつていてだけの方は、日本語や日本文化をじかに学びます。

また、参加者は、新発田市・聖籠町を中心とした地域の家庭にホームステイして、日本語や日本文化をじかに学びます。

この研修ではオーストラリア人家庭でのホームステイ、英語の授業、国立博物館、オーストラリア移民博物館やその他の人気観光スポットを訪問するだけではなく、普通のツアーやでは訪れる事のできないアボリジニ医療センター、自然保護区も見学します。また、地域の高校を訪れて、オーストラリアの高校生活の一端を体験することもできます。高校生のみなさんにとって、きっと楽しい、また興味深い、一生忘れるほどのできない経験となるでしょう。

締切	実施時期	費用	お問い合わせ	お申込み
四月二十日（金）	二〇〇一年七月一十三日（月）～八月六日（月）（十五日間）	二九八、〇〇〇円	敬和学園大学教務課	TEL（〇一五四）二六一、一五一四 FAX（〇一五四）二六一、三六四六

敬和学園大学では二〇〇一年夏休みに新発田地区の高校生、教職員のための異文化交流プログラムを実施します。これは、七月二十三日（月）から八月六日（月）までの十五日間、オーストラリアのメルボルンで実地研修とホームステイを行うというもので。このプログラムは二十年間、オーストラリアの大学で教えてきた経験をもつ本学の田中利幸教授の企画によるもので、田中教授も研修に同行します。

この研修ではオーストラリア人家庭でのホームステイ、英語の授業、国立博物館、オーストラリア移民博物館やその他の人気観光スポットを訪問するだけではなく、普通のツアーやでは訪れる事のできないアボリジニ医療センター、自然保護区も見学します。また、地域の高校を訪れて、オーストラリアの高校生活の一端を体験することもできます。高校生のみなさんにとって、きっと楽しい、また興味深い、一生忘れるほどのできない経験となるでしょう。

サブゼミナルー中國旅行

二〇〇〇年度国際文化学科卒業  
村木美佳子

〔新潟総合警備保障株式会社に就職〕

私たち「房セミ」一行一〇人は昨年十二月二十三日から五日間、中国の西安と上海に卒業旅行へ行きました。帰国からかなりの時間が経ちましたが、今でも昨日のことのように鮮明に思い出されます。

センタ、上海証券取引所およびアジアで一番高い上海タワーもありました。これら上海がアジアの経済交流の中心を担うのではないかと思いました。帰国後、以前よりも中国の情勢を気にかけるようになります。

このはがね 本場の中国料理 マンサージ  
ジ、船遊びも満喫しました。それだけでは  
なく、ゼミ員は初めて慣れない土地で一緒に行動し、チーム・ワークを試されて、結束力が一層強くなりました。このことは新社会人にとっては小さな試練でしたが、同時に大きな心の準備になつたと感じました。最後に、私たちゼミ員十四人というお荷物を背負つて二年間お世話して下さった房文慧先生に恩返しをしようという、極秘プロジェクト(?)も成功し、思い出深い

現代は大量生産大量消費の時代といわれますが、物を消費するごみ（廃棄物）がでます。ごみはリサイクルすれば資源ですが、捨ててしまえば単なる「ゴミ」です。全国の自治体はごみ問題を重要な問題と認識して、分別収集、再利用などで消費型社会から循環型社会への転換を図っています。ごみ処理の原則は3R「ごみの総量を減らす（Reduce）、使えるものは再利用する（Reuse）、資源に戻してリサイクルする（Recycle）」です。さて、ごみ処理の現状はどうなっているのでしょうか。

Recycle)」です。もし、リミ処理の現状はどうなっているのでしょうか。

在学生のみなさん、観光、留学と目的は  
様々かと思ひ

木へたと思ひますが、異國の文化へ、

の文化や人々と触れ合うこ

とで、新たな  
発見があり、

学ぶことがき  
つとあると思

、貴重な  
いえます。です

から積極的に海外へと足

を運び、視野をどんどん広

そして旅の舞台は上海へと移りました。西安とは対照的に、高層ビルやマンションも多く、想像以上に近代的な街でした。上海はビジネスの街とは聞いてはいましたが、街を歩いていても、食事中でも、商売の人が商品を売り込みにくる勢いには、最初戸惑いました。しかし、今よりもっと経済を向上させようとする中国の人々の姿勢を、豊かさに慣れた日本も、見習わなければならぬと思いました。人々のエネルギーだけではありません。至る所に日系企業の看板があり、市の中心部には、国際貿易



華清地にて

國際文化學科教授  
石川喜一

ゼ  
ミ  
紹  
介

# マイペース? 先手必勝? 就職活動体験談

二〇〇〇年度英語英米文学科卒業

石井 美穂子  
(サービス業勤務)

三年生の後期の始めに、自分の将来について真剣に考えはじめました。私は、英語をもっと勉強したい、そして、多くの人たちと出会い、多くを吸収したいと思い、この目標を実現できる、また、私自身の可能性を高めていけるような企業を探しました。将来やりたいことがはつきりしていたので、興味のある企業にだけ、Eメールを送りました。会社説明会では人事の方がどんな人材を求めているのかを必ず話されるので、しつかりメモをしておくといいと思います。面接で心がけたことは、すでに人事の方がチェック済みの履歴書の内容と重複せずに、そこから話を広げるようになうことです。就職活動に入ると、不安になるときがあります。そんなときはリフレッシュが必要です。友達と情報交換するのもいいし、おもいっきりおいしい物を食べてもいいと思います。ストレスをためない自己管理をしてください。

敬和を卒業したら何をしますか? 目標が分からぬ人は、今までの生活や活動、興味を持つてることについて考えてみてください。ここ何年か、自分のやりたいことが分からぬと言つて、定職に就かずに入ルバイトをしている人たちがいます。本人曰く、自分探しの時間らしいのですが、時間が経つほど、可能性を發揮できる場もどんどん狭くなると私は思います。だ

からこそ、早く自分自身と向き合つことが必要だと思います。

二〇〇〇年度国際文化学科卒業 伊藤 典夫  
(金融・保険業勤務)

僕が本格的な活動をはじめたのは、三年生の十一月頃でした。エントリーシートはどこに行つても書かれますが、志望動機、自己PRをよく考え、予備予選の覚悟で臨みました。新潟に関しては、インターネットの普及は遅れていますが、二〇〇一年度は相当浸透してくるのではないかでしょう。ほとんどはリクルートナビ、日経就職ナビ、毎日就職ナビでカバーできます。年々、ネット上の募集時期は早まり、十月末にはエントリーを受け付けているところが多数あります。

自己分析ができないと悩んでいる人は多いと思いますが、自分で自分を分析できる人間なんてほとんどいないでしょう。はつきりした根拠はないけど、これだけは自分にできるんじやないかというものを自分の中から引つ張り出すしかないのです。就職活動は早いに越したことはないでしょう。活動開始の早い分だけ、その経験が報われるときが必ずきます。あと一つ、未来を見て下さい。十年後でもいい。何がトレンドになるのか。金利は低い、合併で何とか生き残っている都市銀行を見てそれでも銀行はいいところなのか。コンピュータは

自動車販売・総務課: 大規模な説明会などで積極的に質問をする学生は印象に残ります。営業では、頻繁にお客様の元へ通つて理解してもらいたい、信頼してもらうことが大切です。就職活動も同じことが言えます。

生命保険会社・支部長: 新しいことに挑戦しようという学生が多いですね。今回は男子学生の参加者が少なく、まだエンジニアがかかるっていないのかなと感じました。採用のスピードは非常に早いので、スタートダッシュが大切です。女子学生の方が危機感をもつて就職活動に臨んでいます。男子も一方的な聞き手にまわらず、いい意味で食欲なところを見せてください。

面接での印象、自己アピール、対人対応能力の重要性を強調していた企業の方は他にもいました。また敬和の女子学生の積極性について、複数の企業の方から好意的な評価をいただきました。

## 企業から見た敬和生のイメージ

企業の方に「敬和生」のイメージと就職活動に関するアドバイスをいただきました。

二月二十三日(金)に本学体育館で行われた学内合同企業説明会で伺ったものです。

# 敬和のボランティア

## 100年度のボランティア実習

100年度の「ボランティア実習」はこれまで10年におよぶ「福祉体験学習」、2000年度から名称変更となった「ボランティア実習」を大幅に見直し、学生のみなさんの「ボランティア」への関心をより高め、興味深い、内容重視のプログラムになります。

従来の組合せは、主に下越地方の老人福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設及び特殊教育諸学校などの70施設あまりで、一日間にわたって体験学習をしてくるというものでした。希望する施設を選択する上では窓口が広い方が良いといえます。しかし、学習内容は各施設まかせでした。近年は各施設内でも介護実習生が大幅に増え、他の福祉関係学校の学生たちと重複して本学の学生を受け入れる施設が多くなりました。そのため、ある施設からは「介護実習であれば、実習内容も組みやすいのですが、敬和さんはボランティアなものですから、どこまで任せてよいのか…」というご指摘をいただきました。

大学も昨年度より、ボランティア論の開講と同時に訪問介護員（三級）養成研修事業を開始しました。これを受講する学生は「ボランティア実習」（二日）のほかに、訪問介護員（三級）資格取得のための実習を、同地域、同施設で展開していきます。中にはほぼ同じ内容の実習になることもあります。施設によっては実習時期も同じ頃と、まぎ

らわしいものとなりました。そのため、学生諸君が混乱せずにそれぞれの実習目的にそつたはつきりとして自覚をもつて取り組める環境を整備していくことが急務でした。

二十一世紀のスタートと同時に敬和学園大学の「ボランティア実習」も新しく、全

学を挙げた「敬和ボランティア・デイ」として開始されます。内容は初年度ということもあり、活動施設やプログラムも少し限定されます。学生も個人単位で参加するのではなく、基礎実習のクラスを中心に一〇〇人あるいは三〇人とグループを作つて参加します。施設側にとつても「今日は敬和ボランティア・デイ」として予定し、日ごろやりたいと思っていてもなかなかできない、しかし手がそれだけあればできるという、双方にとって有益なプログラムを計画し、実行することができます。実習日は七月上旬の一日となります。

施設の職員たちが利用者と一緒にになって本学の学生を受け入れる施設が多くなりました。そのため、ある施設からは「介護実習であれば、実習内容も組みやすいのですが、敬和さんはボランティアなものですから、どこまで任せてよいのか…」というご指摘をいただきました。

二〇〇一年度以降は、クラスを二つに分けました。ホームヘルパー（三級）の資格取得を目標としたボランティア論のクラスを「ボランティア論B」とし、資格取得を目指さずボランティアとは何かを理論的に学びたい学生には「ボランティア論A」を選択してもらいます。

恐らく全国の大学の中でも、こうした「ボランティア論」の中に二つの選択肢があるというのは本学だけだと思います。それだけにこのユニークな「チャンス」を有意義なものとして充分に活用してほしいと思います。

本学は開学以来「ボランティアする大学」をかかげ、ボランティア活動を重視してきた良き伝統があります。その過程のうえ、2000年度からは「ボランティア論」が必修科目として開講されました。同時に本学は、「訪問介護員（三級）養成研修事業」として認可を受けました。よって、「ボランティア論」を受講し、このコースを選択

## ケイワ・オープンカレッジ(公開講座)のご案内

2001年度のケイワ・オープンカレッジは、新発田市、聖籠町、豊栄市、三条市での計4市・町での開講を予定しています。各講座とも、地域の皆様や各市・町の担当者のご意見・ご要望をふまえてテーマを決定しました。

新発田市、聖籠町では、昨年度まで的一方的な講義形式ではなく、1講座を4回連続

で開講し、少人数による演習形式の講座を行います。

豊栄市では「各種の教育」を、三条市では「子育て」をメインテーマに、それぞれ従来の講義形式の講座を開講します。

多くの方々の参加をお待ちしております。詳しくは、下記連絡先までお問い合わせください。

### 新発田市

1講座4回連続で少人数による演習形式の講座です。

春セメスター（5月中旬～6月中旬）	
「文学にあらわれた異文化体験」	学長 北垣 宗治
「戦争と平和を考える：近代日本戦争史の批判的検討」（仮称）	教授 田中 利幸
「人間学」（仮称）	助教授 西村 秀雄
秋セメスター（10月）	
「新発田と関わる歴史、文化、民族、宗教、芸能、社会」（仮称）	教授 神田より子
「インドネシア情勢の背景—スハルトの『履歴書』を読む」	教授 浅野 幸穂

### 豊栄市

昨年どおり6回連続の講義形式の講座です。

emainテーマ「各種の教育」		
6/22	「英語教育」	教授 松崎 洋子
6/29	「道徳教育」	教授 延原 時行
7/ 6	「環境教育」	助教授 矢嶋 直規
7/13	「ジェンダー教育」	非常勤講師 渡邊 登
7/27	「未定」	未定
8/ 3	「死の教育」	非常勤講師 山崎ハコネ

### 連絡先

〒957-8585 新発田市富塙1270  
敬和学園大学総務課総務係  
Tel.0254-26-2394 Fax.0254-26-3646  
E-mail : kcop@keiwa-c.ac.jp

### 聖籠町

1講座4回連続で少人数による演習形式の講座です。

春セメスター（5月中旬～6月中旬）	
「初心者のためのパソコン講座」（仮称）	教授 安藤 司文
「『満映映画』にみる日本人の大陸表象」	助教授 松本ますみ
「大人が見るディズニービデオ」	専任講師 杉村 使乃
秋セメスター（10月）	
「運動と健康」	教授 久島 公夫
「アメリカと日本：歴史、外交、経済」	助教授 ジェームズ・ブラウン

### 三条市

昨年どおり4回連続の講義形式の講座です。

emainテーマ「子育て」		
10/19	「映画で見る子育て」（仮称）	映画監督 小林 茂
10/26	「未定」	スクール・カウンセラー 今成 京子
11/ 2	「子育て—法律家の立場から」	助教授 福王 守
	パネルディスカッション パネラー	教授 永野 茂洋 助教授 ジェームズ・ブラウン 助教授 松本 ますみ 助教授 金山 愛子 司会 専任講師 杉村 使乃
11/ 9		

## 二〇〇〇年度

### 学生団体年度内表彰



二〇〇〇年度  
学生団体年度内  
表彰式が、一月  
十二日に学長室  
で行われました。

二〇〇〇年度

は、少林寺拳法  
部と茶道部が表  
彰の対象とな  
り、学長から表  
彰状と後援会に  
による活動援助金  
が贈呈されると  
ともに、激励の言葉が贈られました。

少林寺拳法部は、新潟県大会一般女子二  
段の部 組演武で、伊保橋怜子、平沼弥生  
組が第一位、高橋真知子、伊関望組が第二  
位に入賞したことに加え、十一月二十六日  
に本学体育館で新潟県学生少林寺拳法大会  
を主管校として開催したことなど個人的活  
躍だけでなく、クラブとしても大きな実績  
をあげました。

茶道部は創部以来着実に稽古を重ね、毎  
年敬和祭での茶会を始め、学内外でいろいろな茶会を開催してその成果を発表し、本  
学をアピールしています。二〇〇〇年度は、  
学内で部員勧誘茶会、学園祭茶会、学外で  
ボランティア茶会、大学交流茶会などを開  
催しました。また、学生交流茶会や他大学  
の茶会に参加して他大学との交流も深めて  
います。

(学生部長)

クラブ紹介

## HOWDY!

英語英米文学科四年 德 永 洋 介

◆四月◆

入学式

三

四

日

新入生歓迎公開学術講演会

十

日

前期講義開始

四月  
二十一日

創立十周年記念式典

二十七日

新入生オリエンテーション

(二十八日)

## 寄付者ご芳名

一般

田村賢雄、新潟YWCA

一

新潟教会婦人会、  
東中通教会婦人会、

松井愛美、後援会

三

日

新入生歓迎公開学術講演会

一九九一組

新田和子、山川淳、飯沼正志  
金山摸子

一

九

九

一

一九九二組

千葉俊志、渡辺大和、  
石井裕美

一

九

九

一

一九九三組

金子美由紀、栗栖仲次

一

九

九

一

一九九四組

小池絵理、齋藤豪芳

一

九

九

一

一九九五組

犬飼晶子、岩村忠輔

一

九

九

一

一九九六組

三間亮、坂本理奈、須貝洋人

一

九

九

一

## 学事予告

# FROM CAMPUS

## キャンパス日誌

### 1月

- 9日 講義再開  
 12日 チャペル・アッセンブリー・アワー②  
     説教 北垣宗治 学長「21世紀の鐘は鳴った」  
     学生団体年度内表彰（写真）



ホームヘルパー3級修了証授与式（写真）



- 13日 外国人留学生入学試験  
 16日 学園常務委員会  
 17日 教授会、人事教授会  
 18日 外国人留学生入学試験合格発表  
 19日 大学・高校連携協議会  
 20日 大学入試センター試験（～1/21）  
 24日 後期末試験（～2/9）  
     大学教育会議  
 26日 理事会

### 2月

- 2日 一般入学試験（A日程）  
 3日 一般入学試験（B日程）  
 7日 教授会  
 9日 一般入学試験（A日程・B日程・センター試験利  
     用入学試験）合格発表  
 10日 春期休暇（～3/31）  
 14日 後期集中講義期間（～2/16）  
     3年次生就職個別面談（～2/22）  
     大学教育会議

- 16日 大学・高校連携協議会  
 19日 後期末追試験（～2/21）  
 22日 春季短期留学 アメリカ・ハワイ州 アジア-太  
     平洋研究所出発（2名）（～3/27）  
 23日 学内合同企業説明会（写真）



編入学試験（第2次）

- 25日 春季短期留学 イギリス アングロ・コンチネ  
     ンタル出発（2名）（～4/2）  
 28日 臨時教授会

### 3月

- 1日 編入学試験（第2次）合格発表  
 12日 一般入学試験（C日程）  
 14日 教授会  
 16日 一般入学試験（C日程）合格発表  
 21日 第7回卒業式、卒業謝恩会（写真）



- 23日 県立新潟女子短期大学と敬和学園大学との単  
     位互換協定調印式（写真）



- 30日 理事会・評議員会  
 31日 学年終わり